

サロン報告

7月30日(木曜日)にサロンビジネスに役立つ「講座」が開催されました。当日は多くの皆様に参加して頂き、20分以内の関心の高さを伺えることが出来ました。今回は野口直前理事長を講師にお迎えして「何を如何に仕事に役立てるか」に焦点を合わせ、インターネット上で無料に利用できるサービスについて様々なお話、実演をして頂きました。今回のサロンに参加してインターネット上のサービスは日々進化して、ユーザーにとって大変便利になっていることを実感しました。仕事や活動においても効率化などの面で大変有益なツールであり、お店等を経営している人達にとっては宣伝にも使えるこれらのサービスを利用しない手はないと思います。近々、第2回を行えばと思います。その時は是非とも皆様も参加下さい。また、予定者の方へ参加も宜しくお願ひします。

拡大友好委員会 南場伸輔

◆拡大友好委員会からのお知らせ◆

福生青年会議所では常に新入会員を募集しております。お近くで青年会議所のメンバーとして活躍したい方、また、可能性を秘めている方等、どんな些細な情報でも構いません。一緒に地域活動、社会活動に取り組んでみませんか？

もちろん、噂で聞いた、面識は一度もない方々でも結構です。小さな情報からすくい上げ、会員拡大の為に全メンバーで取り組んでいきたいと思ひます。お近くになりましたら、拡大友好委員会までお知らせ頂けますようお願い申し上げます。

拡大友好委員会 委員長 佐藤 和義

連絡先：
10_kakudai_fussa
@
googlegroups.com



8月サロン案内

【8月サロン案内】

左記日程で8月サロンを開催致します。
内容は上記は未だヒミツではありますが、ききと皆様の役に立つ内容です。
是非とも皆様も参加ください。
予定者の方へ参加もお待ちしております！

日時：8月30日(月曜日)
20時00分~22時00分
場所：事務局
内容：ヒミツ(未定)

理事長の言葉

「波乱の世を駆け抜けた
風雲児の軌跡に学ぶ」

そもそも権力も無い、金も無い人間が大きな仕事をやるために必要な、力とは何かを坂本龍馬から学んで見たいと思ふ。作家の堺屋太一が書かれた書物から抜粋させていただきますながら、私の個人的な考えも交えて書きたいと思ひます。

龍馬を、政治家として見ると、とても熱血漢があり独立不羈他から何の束縛も受けない。何の制約も受けることなく、みずからの考えに従って事を行うこと。

「志」一人ひとりの情熱を持って

の気概を持ち、幕末の変革期に現れた異能人にすぐれた才能な政治家であったが、あまりにも一匹狼的で、出たところ勝負の人物だと見られる。経営者として見ると、海運貿易という大きなビジョンを掲げ、日本で最初の商社と言われる亀山社中、後の海援隊を創設しているが、経営実務の感覚はむしろ、いかにも投機的損失の危険を冒しながら大きな利益をねらってする行為でとても金儲けがうまかつたとは思えない。実際には龍馬が死んだ後に遺産が残っていたという話は聞いた事がないそうである。

薩長同盟の時に、龍馬が中立ちして外国から武器を購入入で、長州に変わり薩摩が買入れ、長州と米と交換させるという離れ業を成し遂げているが、これも経済の取引というよりは、政治取引であつたと思われる。そんな坂本龍馬が私たちの心を引き付けて、一代の英雄として人気を得ているのでしょうか？その一つに、介の素浪人(なかなだち)助ける無一物の浪人が、士農工商



(士と農と工と商。江戸時代の封建社会の階級観念に従って上位から並べたもので表される身分社会の中で、時代や組織を超えた才能でラブルに発揮し、天下を動かしたという狭義感がある。からではななななうか。実は日本は、偉くない人つまり権力もない、金もない人間が大きな仕事のできる国であり、これは世界に誇れる伝統であると思ふ。幕末から明治維新にかけてそういう人物が大勢いた。坂本龍馬や高杉晋作のように、30代の人物が活躍した時代である。

ところが今の若い人たちは、「何か世の中を変えようとなんてをやりたくありません」と聞くと、「そんなことを言ったら、会社では上司に怒られ、組織であれば総務課で言われたり、カッパけられる」と言われたり、「そんなことを考える人が多いのではないだろうか。歴史を見ても、幕末に「志」を持った人たちは半分が殺されている。今の世の中で日本を変えよう！と「志」を持って動いても殺される世の中ではない。現在で言うならば、個人的な感情を好き嫌いで物事を判断し、嫌いだあれば仲間を

今月のコラム

今年40歳を迎えた30代で感じた40歳の方は、でも、もなくオヤジといった感じでした。共感できるものもなく何一つあるもか！(笑)なんと思つてた、実はそんな風に思つていたのですつかり忘れていた。

最近、弊社に24歳の若者が入社した。一緒に仕事をするのだが、なんか今心とちかみ合わない。

私が仕事を厳しく指導するといちいち落ち込み、昼飯と一緒に食べても非常に緊張している。

こっちは、もつと気楽にやればよ、お前のミエなんか想定済みだよ、元氣よくやればそれでいいよ、ぐらいいろくと思つていないのだが、若者はおきな剛腕たりを私との間に感じているようなのだ。

あ、そりやそうだ、昔を思い出した！相手は私のことをとんでもなくおっさん、同じ人間として見ないのだ。

目の前のオッサンが、普通にかわいい女の子がいれば、かわいと思つて、お腹も減れば、仕事でミエをする、ときには泣きたくなく、ミエをする、とも、知らないらしいのだ。

私も新人時代、お付き合いのある社長が、二十歳過ぎればみんな同じ！とビラな目で頑張れ！とすいぶん励まされた。でも、本当は同じではないのだから、でもすいぶん助けられた言葉であった。

うちの新人社員にも同じ言葉をかけ、同じ人間だという場面をこれから沢山見てもらひのひのひと

仕事をしてもいい、私も大いに年配の先輩と渡り合つて頑張っていきたいものだ。

広報委員会 渡辺淳



2010/07/11

第3子代理理事長 入江 誠一

作り島合の衆となり、理不尽な解釈で正当化しようとする働きがあるのも事実だと思ふ。正しい事を正しく見られたい世の中は歴史上の例を見れば明らかのように思ふ。だからこそ、我々、青年会議所は、どこまでも庶民の目標で、国を超え、人種も超え、宗教感に對してもお互いに尊重、尊敬し、台世界平和の根本理念に改めて立へべき時に来ているのだと心より実感している。

